

**北海道大学低温科学研究所共同利用研究集会**  
**「気候変化に伴う質量収支と氷河変動に関する研究」**

1/7(月)10:00～1/8(火)12:30 施 北海道大学 低温科学研究所 3F 講堂

**1/7(月)**

- |             |   |
|-------------|---|
| 10:00-10:05 | 趣旨説明および事務連絡(縫村崇行)   |
| 10:05-10:35 | 藤田耕史(名古屋大学)<br>全球規模での氷河縮小と海水準上昇の将来予測  |
| 10:35-11:05 | 庭野 匡思(気象研究所)<br>領域気候モデル NHM-SMAP 関連(仮)  |
| 11:05-11:35 | ポドリスキ エヴゲニ (北海道大学)<br>Ambient seismic noise に記録されたネパールヒマラヤのデブリ氷河における夜間の熱的破碎現象 |
| 11:35-13:05 | 昼休み   |
| 13:05-13:35 | 杉山 慎(北海道大学)<br>パタゴニアにおけるカービング氷河末端プロセス(仮)                                      |
| 13:35-14:05 | 漢那直也(北海道大学)<br>グリーンランド北西部におけるカービング氷河前フィヨルドの海水特性                               |
| 14:05-14:25 | 休憩  |
| 14:25-14:55 | 山根志織(北海道大学)<br>東南極リュツォホルム湾における定着氷流出後の氷河末端変動(仮)                                |
| 14:55-15:25 | 榊原大貴(北海道大学)<br>1985-2012 年におけるグリーンランド北西部・海洋性溢流氷河の表面高度変化(仮題)                   |
| 15:25-15:45 | 休憩  |

- 15:45-16:15 浅地泉(北海道大学)  
Heilprin 氷河前での海底地形測深結果と氷河の表面標高変化
- 16:15-16:45 近藤研(北海道大学)  
グリーンランド北西部カナック氷帽の表面質量収支と流動
- 16:45-17:15 紺屋恵子(JAMSTEC)  
2017 年春のアラスカ山脈の氷河表面ブラックカーボン濃度と分布

## 1/8(火)

- 9:30-10:00 砂子宗次朗(名古屋大学)  
トランバウ氷河における質量収支と流動, 氷厚について(仮)
- 10:00-10:30 佐藤洋太(名古屋大学)  
ネパール・ヒマラヤ トランバウ氷河における氷壁の分布特性
- 10:30-10:50 休憩
- 10:30-11:00 對馬あかね(名古屋大学)  
トランバウアイスコアの分析結果と本掘削計画
- 11:00-11:30 竹内俊介(千葉大学)  
(仮)中央アジア山岳氷河の雪氷中に含まれる鉱物ダストの比較研究
- 10:55-11:25 縫村崇行(千葉科学大学)  
Pleiades DEM の検証について
- 大沼友貴彦(東京大学)  
全球陸面過程モデル MATSIRO を用いた雪氷藻類繁殖の季節および地域特性(仮題)